

教職



カリキュラムマップ（小学校・中学校・高等学校版）

カリキュラムマップは、「教職基盤」と授業科目との対応関係を表しています。授業科目の中には、一つの科目の中に複数のねらいが含まれている場合があります、その主たるねらいに基づいて原則として一つの「教職基盤」に割り当てられています。

縦軸となる「教職基盤」

赤字:必修科目、選択必修科目
青字:選択科目

「教職基盤」の領域	「教職基盤」の名称	「教職基盤」の概念	キーワード	対応する授業科目
A. 教師としての基本的素養	01- 豊かな人間性、教養、人権意識	豊かな人間性や社会性、広く豊かな教養、子供に対する人権の尊重をもって子供に教育したり、かかわったりする力	豊かな人間性や社会性 / 豊かな教養 / 人権の尊重	教養科目群（別表1）
	02- 教職の意義と関係法規、学習指導要領、教育改革の動向等	教育者としての使命感、子供に対する教育的愛情や責任感を基盤に教育理念及び教育の歴史と思想、教職の意義及び教員の職務内容と役割、教育の社会的・制度的・経営的事項、教育方法・内容、学習指導要領について理解し、教育改革に対応する力	教職に対する使命感 / 子供に対する教育的愛情や責任感 教育理念及び教育の歴史と思想 教職の意義及び教員の職務内容と役割 教育の社会的・制度的・経営的事項 教育方法・内容 / 学習指導要領	教育基礎論Ⅰ 教育史Ⅰ 教育社会学Ⅰ 教育制度論Ⅰ 教職原論Ⅰ 教育方法論Ⅰ 教育基礎論Ⅱ 教育史Ⅱ 教育社会学Ⅱ 教育制度論Ⅱ 教職原論Ⅱ 教育方法論Ⅱ
	03- 学校の組織マネジメントと働き方	学校園の組織的な教育活動について理解し、学校園組織における自己の役割を分析・理解し、主体的・積極的に諸活動に参画する力、及び学校園内外の各種資源について理解し、その効率的な活用を通じて学校園教育活動の持続的な改善を行う力	学校園組織に関する理解 / 教員の仕事に関する理解 学校園内外での協働的な問題解決	子どもの安全と学校組織 教師の連携・協働と学校経営
B. 多様な関わりを構築し活かす力	04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション	子供との対話、教員間および関係者との協働を促進するコミュニケーション力	連携・協働 / ファシリテーション コンサルテーション / プレゼンテーション	教師の連携・協働と学校経営（再掲） 多機関連携と学校防災 校種間連携教育論 社会的養護 部活動の指導と運営
C. 子供を理解する力	05- 子供の発達と学習	各発達段階における心身の発達の過程ならびにその特徴を理解し、子供の学習を支える教育活動を発達をふまえて展開していくのに必要な力	幼児期から青年期までの心理と発達の特徴 発達障害	発達心理学Ⅰ 教育心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育心理学Ⅱ
D. 特別な配慮や支援を必要とする子供に対応する力	06- ダイバーシティとインクルージョンの教育	子供の多様性を認める素養をもとにした、インクルーシブ教育を展開する力	ダイバーシティ / ソーシャル・インクルージョン インクルーシブ教育 / アンコンシャス・バイアス 合理的配慮 / QOL の向上	インクルーシブ教育基礎論 インクルーシブ教育実践論 特別支援教育概説 外国人児童生徒のための日本語教育 外国人児童生徒のための日本語教育（演習）

横軸となる「教職基盤」

「教職基盤」の領域	「教職基盤」の名称	「教職基盤」の概念	キーワード	対応する授業科目
E. 教科・領域等の学習指導を展開する力	07- 学習者中心の学習観・授業観	学習観・授業観の転換とその核心としての学習者観の転換にかかわる考え方等を理解し、すべての児童生徒の可能性を引き出す、新しい学習観・学習者観に基づく学習環境をデザインする力	アクティブ・ラーニング ファシリテーターとして果たすべき教師の役割 転換された学習・学習者観に依拠した新しい評価のかたち	学習科学と授業のリデザイン ラーニング・ファシリテーションの理論と実践 幼児理解論
	08- 教科等の専門性と教材研究	各教科等についての専門的な知識や技能を身につけ、各教科等に応じた見方・考え方を踏まえて、教材を研究、解釈、開発することを通して、授業を具体的に構想する力	教科の見方・考え方 教材研究 / 教材開発 / 授業の構想力	初等教科内容科目（別表2） 中等各教科教育 / 内容科目（別表4） 幼児教育/領域及び保育内容の指導法に関する科目(別表3) 初級ピアノ実技
	09- 授業設計・実践・評価・改善	学習者中心の授業実践を行うための具体的な手立てについて理解したうえで、それを用いて授業を設計・実施する力。また実施された授業実践を学習者中心という観点から分析・評価し、改善する力	授業づくり / 学習評価 授業研究 / 主体的・対話的で深い学び 個別最適な学び、協働的な学び	初等教科指導法科目（別表2） 中等各教科教育 / 指導法科目（別表4） 道徳教育論 / 総合的な学習の時間の理論と実践 幼児教育/領域及び保育内容の指導法に関する科目(別表3) 初等教科授業デザイン科目（別表2）
	10- カリキュラムの開発・実施・評価	教育課程編成の基本原理解、学校や児童生徒の現状、学習指導要領などを踏まえて、適切な教育課程を開発し、実施する力、児童生徒の学習経験としてのカリキュラムを分析する力、カリキュラム・マネジメントを視点としながら教育課程を評価し、改善する力	学習指導要領 社会に開かれた教育課程 カリキュラム・マネジメント	教育課程論
	11- STEAM 教育	各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断・文理融合的なプロジェクト型の学習である STEAM 教育を展開する力	教科横断・文理融合 / PjBL/ デザイン思考 ファシリテーション / 地域や企業との協力・協働	STEAM 教育概論 STEAM 教育演習

「教職基盤」の領域	「教職基盤」の名称	「教職基盤」の概念	キーワード	対応する授業科目
F. ICT や情報・教育データを活用する力	12- ICT の利活用	ICT 機器や EdTech、クラウド型授業支援システムなどのデジタル学習環境を活用した情報活用型の授業を展開する力	学習基盤としての情報活用能力 教科指導における ICT 活用	教育情報化概論 デジタル学習環境と情報活用
	13- 情報教育（含プログラミング教育、情報モラル・セキュリティ教育）	情報活用能力の育成に向け、探究・問題解決における情報活用、プログラミング教育、情報モラル・セキュリティ教育などの実践を展開する力	ICT 基本操作 / 探究・問題解決における情報活用 プログラミング教育 / 情報モラル・セキュリティ教育	教育情報化概論（再掲） 小学校プログラミング教育教材論 情報モラル・セキュリティ教育論
	14- 教育データの活用	エビデンスに基づき教育を改善するために、教育データを適正に活用する力	教育データの収集 / 教育データの可視化 教育データの統計的な分析	教育データサイエンス 教育・心理研究法
G. 学級経営・生徒指導を展開する力	15- 生徒指導・生活指導	児童生徒一人一人が主体的に自己実現していく過程を支援するとともに、集団や社会の中でその一員としての自己を成長させていくための教育活動を展開する力	児童生徒理解 / 自己指導能力 問題対応型生徒指導から開発的・予防的生徒指導へ 学習指導と生徒指導の一体化 学校組織における協働的生徒指導体制 学校と家庭・地域・関係機関との連携	生徒指導論
	16- 学級経営、特別活動	児童生徒理解のもと、児童・生徒との信頼関係を構築すると共に、一人一人が安心でき、自己存在感や充実感を感じられる場所や主体的に取り組む共同的な活動を設定、実践する力	学級内の人間関係と集団づくり 特別活動の意義、目標及び内容	特別活動論Ⅰ 特別活動論Ⅱ
	17- 教育相談	児童生徒を取り巻く様々な問題に対して、個々の立場に寄り添い支援・解決できることに加え、一人一人にきめ細かい対応をするための校内相談体制の構築や専門家を含めた関係機関と連携する力	スクールカウンセリングと心理療法 教育相談の基礎と個別支援の方法 学校カウンセリングの基礎知識	教育相談論Ⅰ 学校精神保健学 学校・臨床心理学
	18- キャリア教育	児童生徒が社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために必要な能力や態度を育成する力	自らの生き方と自己実現	キャリア教育論
	19- 防災教育、学校安全	安全・安心な教育環境に関する幅広い理解、学校内外での連携関係を活用した組織的な危機管理についての理解に基づき、それを実践する力。	安全・安心な教育環境 地域連携・多機関連携による学校防災	子どもの安全と学校組織（再掲） 多機関連携と学校防災（再掲）

学び続ける教師の力の育成に関わる科目（全ての「教職基盤」に関わる）

上記全科目に加え下記科目で「教職基盤」を働かせ、省察し改善する力、探究し実践する力、問いを持ち課題を設定する力を育む

「自己の傾向性を知り、認識を問い直す」学び 「関わりを通して認識や経験の幅を広げる」学び 「経験からの学び方を学ぶ」学び	教職キャリア発達科目	教職実践演習 教師力養成特別演習 小学校授業づくり入門 教職基盤探究
	実地教育科目	学校観察実習（実地教育Ⅰ） フレンドシップ実習（実地教育Ⅱ） 初等基礎実習（実地教育Ⅲ） 中等基礎実習（実地教育Ⅳ） 初等実習リフレクション（実地教育Ⅴ） 中等実習リフレクション（実地教育Ⅵ） 学校教育応用実習（実地教育Ⅶ）
	インターンシップ科目	学校インターンシップ実習
	卒業研究	

「教職基盤」には位置づけない科目	学校図書館司書教諭資格取得に係る科目	学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用 学校図書館学Ⅰ 学校図書館学Ⅱ
------------------	--------------------	--

別表 1 教養科目群

アカデミックスキル科目
クラスセミナーⅠ
クラスセミナーⅡ
情報処理基礎演習
AI・データサイエンス基礎

社会課題探究科目
暮らしのなかの憲法
同和教育と人権教育
社会の中の言語文化
芸術と人間
環境問題と健康
文学と読解
社会認識のための地理情報
生涯学習と人間形成
人間関係とカウンセリング
兵庫の教育
社会ボランティア体験学習Ⅰ
社会ボランティア体験学習Ⅱ
障害者理解と支援（入門）

理数系基礎科目
数学基礎
自然科学入門
わくわくサイエンス実験
基礎理科実験

グローバルスタディーズ科目
グローバルスタディーズⅠ
グローバルスタディーズⅡ
海外教育体験実習

表現コミュニケーション科目
英語コミュニケーションⅠ
英語コミュニケーションⅡ
英語コミュニケーションⅢ
英語コミュニケーションⅣ
英語コミュニケーションⅤ
英語コミュニケーションⅥ
英語コミュニケーションⅦ
アカデミック英語Ⅰ
アカデミック英語Ⅱ
アカデミック英語Ⅲ
アカデミック英語Ⅳ
アカデミック英語Ⅴ
ドイツ語コミュニケーションⅠ
ドイツ語コミュニケーションⅡ
フランス語コミュニケーションⅠ
フランス語コミュニケーションⅡ
中国語コミュニケーションⅠ
中国語コミュニケーションⅡ
韓国語コミュニケーションⅠ
韓国語コミュニケーションⅡ
体育Ⅰ
体育Ⅱ

別表 2 初等教科内容科目／初等教科・領域教育法科目

初等教科内容科目
初等国語
初等社会
初等算数
初等理科
初等生活
初等音楽
初等図画工作
初等体育
初等家庭
初等英語

初等教科指導法科目
初等国語科教育法
初等社会科教育法
初等算数科教育法
初等理科教育法
初等生活科教育法
初等音楽科教育法
初等図画工作科教育法
初等体育科教育法
初等家庭科教育法
初等英語科教育法

初等教科授業デザイン科目
初等国語科授業デザイン
初等社会科授業デザイン
初等算数科授業デザイン
初等理科授業デザイン
初等生活科授業デザイン
初等音楽科授業デザイン
初等図画工作科授業デザイン
初等体育科授業デザイン
初等家庭科授業デザイン
初等英語科授業デザイン

別表 3 幼児教育／領域及び保育内容の指導法に関する科目

領域及び保育内容の指導法に関する科目
幼児と健康
幼児と人間関係
幼児と環境
幼児と言葉
幼児と表現
幼児教育指導総論
保育内容健康論
保育内容人間関係論
保育内容環境論
保育内容言葉論
保育内容表現論

別表 4 中等各教科教育 / 内容科目 / 指導法科目
(教科教育系グループ科目(中学校、高等学校))

国語グループ科目	
教科内容科目	国語学Ⅰ
	国語学Ⅱ（音声言語及び文章表現を含む。）
	国語学演習Ⅰ
	国語学演習Ⅱ
	国文学Ⅰ
	国文学Ⅱ（国文学史を含む。）
	古典文学演習
	近代文学演習
	児童文学論
	児童文学演習
	漢文学
	漢文学演習
教科指導法科目	書写・書道
	国語科教育法Ⅰ
	国語科教育法Ⅱ
	国語科教育法Ⅲ
	国語科教育法Ⅳ
国語科授業研究	

社会グループ科目	
教科内容科目	日本史概説
	日本史特講
	日本史演習Ⅰ
	日本史演習Ⅱ
	外国史概説
	外国史特講
	外国史演習Ⅰ
	外国史演習Ⅱ
	人文地理学概説
	地理学特論演習Ⅰ
	自然地理学概説
	地理学特論演習Ⅱ
	地誌学概説
	法律学概説（国際法を含む。）
	政治学概説（国際政治を含む。）
	法律学演習
	政治学演習
	教科指導法科目
社会学概説	
経済学演習	
社会学演習	
倫理学概説・演習	
教科指導法科目	哲学概説
	哲学演習
	社会科教育法Ⅰ
	社会科教育法Ⅱ
	社会科教育法Ⅲ
	社会科教育法Ⅳ
	地理歴史科教育法Ⅰ
	地理歴史科教育法Ⅱ
	公民科教育法Ⅰ
	公民科教育法Ⅱ
社会科授業研究	

数学グループ科目	
教科内容科目	代数学Ⅰ
	代数学Ⅱ
	代数学Ⅲ
	幾何学Ⅰ
	幾何学Ⅱ
	幾何学Ⅱ演習
	解析学Ⅰ
	解析学Ⅰ演習
	解析学Ⅱ
	確率・統計
教科指導法科目	コンピュータ数学概論
	数学科教育法
	数学科教育法演習
	数学科教育法特別演習Ⅰ
	数学科教育法特別演習Ⅱ
数学科授業研究	
数学特別演習	

音楽グループ科目	
教科内容科目	ソルフェージュ
	声楽演習Ⅰ
	声楽演習Ⅱ
	合唱演習
	ピアノ演習Ⅰ（伴奏を含む。）
	ピアノ演習Ⅱ
	器楽演習Ⅰ
	器楽演習Ⅱ
	合奏演習
	指揮法演習
教科指導法科目	音楽理論と音楽史の基礎（作曲法を含む。）
	作曲演習
	音楽科教育法Ⅰ
	音楽科教育法Ⅱ
	音楽科教育法Ⅲ
音楽科教育法Ⅳ	
音楽科授業研究	

保健体育グループ科目	
教科内容科目	基礎体育実技Ⅰ （陸上競技、体操・器械運動）
	基礎体育実技Ⅱ（水泳、ダンス）
	基礎体育実技Ⅲ（球技①）
	基礎体育実技Ⅳ（武道）
	基礎体育実技Ⅴ（野外活動）
	応用体育実技Ⅰ （陸上競技、体操・器械運動）
	応用体育実技Ⅱ（水泳、ダンス）
	応用体育実技Ⅲ（球技②）
	体育・スポーツ文化論Ⅰ
	体育・スポーツ文化論Ⅱ
	体育心理学
	体育経営・管理
	バイオメカニクス
	生理学・運動生理学
	教科指導法科目
衛生学・公衆衛生学	
学校保健Ⅰ	
学校保健Ⅱ	
学校保健Ⅲ（小児保健、精神保健、 学校安全及び救急処置を含む。）	
保健体育科教育法Ⅰ	
保健体育科教育法Ⅱ	
保健体育科教育法Ⅲ	
保健体育科教育法Ⅳ	
保健体育科授業研究	

技術グループ科目	
教科内容科目	材料加工Ⅰ（実習を含む。）
	材料加工Ⅱ（実習を含む。）
	機械工学（実習を含む。）
	電気工学（実習を含む。）
	電子工学（実習を含む。）
	生物育成
	情報基礎Ⅰ
	情報基礎Ⅱ
教科指導法科目	情報応用Ⅰ
	情報応用Ⅱ
	技術科教育法Ⅰ
	技術科教育法Ⅱ
	技術科教育法Ⅲ
技術科教育法Ⅳ	
技術科授業研究	

英語グループ科目	
教科内容科目	英語学概論
	英語学基礎論
	英語学特論
	英語文学概論
	英語文学特論
	英語文学研究
	オーラルコミュニケーションⅠ
	オーラルコミュニケーションⅡ
	ライティング
	異文化理解Ⅰ
教科指導法科目	異文化理解Ⅱ
	英語科教育法Ⅰ
	英語科教育法Ⅱ
	英語科教育法Ⅲ
	英語科教育法Ⅳ
英語科授業研究	

理科グループ科目	
教科内容科目	物理学Ⅰ
	物理学Ⅱ
	物理学実験
	化学Ⅰ
	化学Ⅱ
	化学実験
	生物学Ⅰ
	生物学Ⅱ
	生物学実験
	地学Ⅰ
教科指導法科目	地学Ⅱ
	地学実験
	理科教育法Ⅰ
	理科教育法Ⅱ
理科教育法Ⅲ	
理科教育法Ⅳ	
理科授業研究	
地質学野外研究	

美術グループ科目	
教科内容科目	絵画教育論
	絵画演習
	絵画実技
	版画
	彫刻教育論
	彫刻演習
	彫刻実技
	構成教育論
	デザイン実技
	工芸教育論
教科指導法科目	工芸実技
	美術史学
	美術史学演習
	芸術学
	美術科教育法Ⅰ
美術科教育法Ⅱ	
美術科教育法Ⅲ	
美術科教育法Ⅳ	
美術科授業研究	

家庭グループ科目	
教科内容科目	生活経営学・福祉（家庭経済学を含む。）
	家族関係学
	社会福祉学演習
	被服学Ⅰ
	被服学Ⅱ
	被服構成学実習
	食物学Ⅰ（食品学及び栄養学を含む。）
	食物学Ⅱ
	調理学実習
	住居学
教科指導法科目	保育学
	保育学演習
	家庭科教育法Ⅰ
	家庭科教育法Ⅱ
	家庭科教育法Ⅲ
家庭科教育法Ⅳ	
家庭科授業研究	